

施策評価調書(内部評価結果)

整理番号 **8**

■ 総合計画(後期基本計画)

政策名	II 環境循環都市
施策名	① 自然環境の保全と創造

所管部局	所管部局長の氏名
市民部	木村 嘉充
農林水産環境部	石嶋 政博

1 関連する個別計画 **PLAN**

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
京丹後市環境基本計画	本市の環境に関する状況や市民・事業者等の環境に対する意見等を把握したうえで、本市の特性を活かし、環境の保全と環境資源を利用した地域活性化を目指した将来の目標を定めるとともに、その実現のための施策を効果的に推進することを目的に策定	平成22年2月	平成21年度～平成30年度	重点プロジェクトの期間は、平成25年度まで
京丹後市地球温暖化対策実行計画	地球温暖化対策推進法第21条に基づき、京丹後市のすべての事務・事業に関し、温室効果ガスの排出の抑制等の措置を行うことにより、地球温暖化対策の推進を図ることを目的に策定	平成18年2月	平成18年度～平成22年度	第2期計画を策定予定(平成25年度)

2 施策目的

優先順位	現状においてどのような問題や課題があって(何のために)	『何を対象に』、『どのようなことを行うことで(又はどのような手段で)』	どのような状態にしたいのか	関連する施策方針
1	ライフスタイルや産業構造の変化による自然環境への悪影響	市民・事業者を対象とした清掃活動への参加要請、自然環境保全意識の啓発	自然環境、生活環境の持続可能な保全	1 豊かな自然・農山漁村環境の継承 2 地球温暖化防止対策の推進
2	温室効果ガスの排出等による地球温暖化問題、枯渇性のある化石由来燃料からの脱却	市民・事業者を対象とした節電、節水、公共交通機関の利用促進などの省エネ・省資源型生活の推進。省エネルギー機器への移行、次世代自動車インフラの整備	事業所、各家庭での節電や公共交通の利用、省エネ機器、次世代自動車の普及などによる化石燃料の使用削減、温室効果ガスの排出の抑制	2 地球温暖化防止対策の推進
3	化学合成肥料・農薬の使用量を削減し、多様な生物を育み、安心・安全な農産物の生産を行う。	堆肥等の利用、生分解性マルチ等の利用による環境に配慮した営農活動の推進。遊休農地を利用した水田ビオトープの設置	生物多様性を育む農業の推進、豊かな自然・農村環境の維持	1 豊かな自然・農山漁村環境の継承
4	現況の3火葬場は老朽化しているため、	環境にやさしく、安定した火葬業務が行える最新設備の火葬場を整備することで	適正な必要業務が行えるようにする。	4 火葬場の整備
5	狂犬病予防接種の未接種、堀川浄化施設の老朽化、騒音、振動、悪臭といった日常生活の中での公害等がある中で、	狂犬病予防接種の周知啓発、堀川浄化施設の維持管理、公害への迅速的確な対応を図ること	市民が安心して快適に暮らせる環境を確保する。	1 豊かな自然・農山漁村環境の継承
6	災害の大型化、蜂による被害が多発する中で、	消毒剤の常備等災害に備えるとともに、蜂の防護服を整備することで、	市民が安心して快適に暮らせる環境を確保する。	3 自然環境に配慮した公共事業の実施

3 目標値など

総合計画	めざす目標	指標名	総合計画作成時 (H17)		後期基本計画作成時 (H20)		直近年度実績値 (現状)		目標 (H26)	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度		
豊かな環境を継承します		京丹後市一斉グリーン作戦の実施	0回/年間	H17	0回/年間	H20	1回/年間	H24	2回/年間	H26
		京丹後市美しいふるさとづくり条例重点区域箇所	4か所	H17	4か所	H20	4か所	H24	10か所	H26
		自然観察会開催回数	新規	-	2回/年間	H20	1回/年間	H24	5回/年間	H26
		自然環境調査の実施	新規	-	0回/年間	H20	0回/年間	H24	2回/年間	H26

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時		直近年度実績値 (現状)		目標		
				年度	年度	年度	年度	年度	年度	
京丹後市環境基本計画		自然環境調査回数(市が実施するもの)	豊かな自然を守り共生していくまち	0回	H20	0回/年間	H24	2回	H30	
		自然観察会開催回数(市が主催、共催、後援するもの)		2回	H20	1回/年間	H24	5回	H30	
		環境体験学習会開催回数(市が主催、共催、後援するもの)		1回	H20	3回/年間	H24	5回	H30	
		間伐施行面積(年間)		31.0ha	H20	344.46ha	H23	40.0ha	H30	
		放置竹林伐採面積(H16以降の放置竹林拡大防止事業面積)		23.8ha	H20	37.9ha	H23	55.0ha	H30	
		生活排水処理率		34.0%	H20	47.1%	H24	76.3%	H30	
		久美浜湾のCOD濃度		3.2mg/l	H19	3.3mg/l	H24	2mg/l以下	H30	
		久美浜湾の全窒素濃度		0.45mg/l	H19	0.32mg/l	H24	0.3mg/l以下	H30	
		京丹後市美しいふるさとづくり条例による重点区域数		4か所	H20	4か所	H24	10か所	H30	
		京丹後市一斉グリーン作戦の実施		0回	H20	1回/年間	H24	2回	H30	
		エコファーマー認定数		豊かな財産を環境に生かすまち	94件	H20	135件	H24	147件	H30
		KES導入企業数			28事業所	H20	26事業者	H24	40事業所	H30
		エコ京都21認定数(地球温暖化防止部門)		低炭素社会に挑戦するまち	1事業所	H20	1事業者	H24	3事業所	H30
		路線バス利用者数			30.3万人	H20	39.3万人	H24	32万人	H30
		温室効果ガス排出量			京丹後市地球温暖化対策地域推進計画の策定にあわせ、現状値・目標値を設定					
		まちづくり出前講座(環境関連)開催数		楽しく学び	2回	H20	5回/年間	H24	25回	H30
		環境保全リーダー認定数(市が認定する人数)		ともに環境を育むまち	0人	H20	0人	H24	10人	H30
		こどもエコクラブ数			1団体	H20	1団体	H24	3団体	H30
		京丹後市地球温暖化対策実行計画			庁内や事業等で使用する電気使用量の削減率(H16年度比)		12,555t-CO2/年	H16	12.1% (11,046t-CO2/年)	H22
燃料使用量(庁内等での暖房用に使用する灯油)の削減率(H16年度比)			158t-CO2/年		H16	△5.1% (166t-CO2/年)	H22	1.2%	H22	
燃料使用量(事業等で使用する灯油)の削減率(H16年度比)			2,360t-CO2/年		H16	46.9% (1,254t-CO2/年)	H22	11.8%	H22	
燃料使用量(給湯器やガスコンロに使用するLPG)の削減率(H16年度比)			21t-CO2/年		H16	14.2% (18t-CO2/年)	H22	7.5%	H22	
燃料使用量(事業等で使用するLPG)の削減率(H16年度比)			562t-CO2/年		H16	2.8% (546t-CO2/年)	H22	8.4%	H22	
燃料使用量(事業等で使用する重油類)の削減率(H16年度比)			1,903t-CO2/年		H16	3.3% (1651t-CO2/年)	H22	8.5%	H22	
燃料使用量(事業等で使用する軽油)の削減率(H16年度比)			61t-CO2/年		H16	24.6% (46t-CO2/年)	H22	9.7%	H22	
燃料使用量(公用車燃料)の削減率(H16年度比)			699t-CO2/年		H16	8.7% (638t-CO2/年)	H22	4.6%	H22	
一般廃棄物の焼却量(一般廃棄物(ごみ)の焼却量)の削減率(H16年度比)			286t-CO2/年		H16	11.1% (254t-CO2/年)	H22	8.5%	H22	
一般廃棄物の焼却量(うち、廃プラスチックの焼却量)の削減率(H16年度比)			6,315t-CO2/年		H16	△12.9% (7,130t-CO2/年)	H22	11.5%	H22	
市の事務・事業活動に伴う温室効果ガス排出の削減率(H16年度比)		27,278t-CO2/年	H16	9.1% (24,795t-CO2/年)	H22	8.8%	H22			

施策方針	事務事業 事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業の概要							施策評価結果					
			H24決算額	H25予算額 (一般財源)	根拠 法令	財政 負担	単独 事業	事業 種別	対象	実施 手法	関与必要性 数値	説明	施策 目的	施策 貢献度	今後の 方向性		
1 豊かな自然・農山 漁村環境の継承	1 狂犬病予防・動物管理事業	市民課	647	685	義務	府・ 一部	含む	-	-	-	-	-	5	A	現状維持		
	狂犬病の予防接種・動物管理におけるマナー等の啓発(登録2,599頭、予防接種2,020頭)																
	2 堀川浄化施設維持管理事業	市民課	1,543	1,622 (1,622)	なし	単費	○	維持 管理	市民	委	7	生活維持 確保	5	A	現状維持		
	生活排水処理施設「堀川浄化槽施設」(久美浜町)の維持管理																
	3 公害対策事業	市民課	974	1,089 (1,089)	府規 定	単費	○	サー ビス	市民	直・委	6	生命財産 権利保護	5	A	現状維持		
	野焼きや騒音・振動・悪臭等の苦情等に対し、府、自治会等と市が連携して解決に向けた対応を実施																
	4 地域循環型農業支援事業	農政課	2,710	2,000 (2,000)	市規 定	単費	○	サー ビス	事業 者	補	4	民間補完 福祉増進	3	S	現状維持		
	環境に配慮した有効な資材購入に対して補助金を交付(たい肥66件、マルチ13件)																
	5 コウホリもすめるさとづくり支援事業	農政課	629	692 (692)	市規 定	単費	○	サー ビス	団体	補	3	個性魅力	3	S	現状維持		
遊休水田を利用した水田ビオトープの設置管理への取組に対し補助金を交付(8件)																	
2 地球温暖化防止 対策の推進	1 地球温暖化防止対策推進事業【II-②にも該当】	環境バイオマス推進課	309	-	市規 定	単費	○	サー ビス	市民	補	4	民間補完 福祉増進	2	B	終了・ 廃止		
	自然エネルギー活用の普及のため薪ストーブ・ペレットストーブ設置に補助金交付(6件)等																
	2 環境基本計画推進事業【再掲】方針1	環境バイオマス推進課	386	349 (349)	なし	単費	○	内部 管理	-	-	-	-	1,2	A	縮小		
	環境基本計画推進委員会・小委員会の開催(計6回)及び環境学習の開催(10回、参加者234人)																
	3 自然環境に配慮 した公共事業の実施	1 防疫対策事業	市民課	118	190 (190)	国規 定	単費	○	サー ビス	市民	直	7	生活維持 確保	6	A	現状維持	
	害虫駆除に係る蜂駆除用防護服の市民への貸出し(2件)																
	4 火葬場の整備	1 網野火葬場管理運営事業	市民課	5,556	6,334 (3,334)	市規 定	単費	○	サー ビス	市民	直・委	7	生活維持 確保	4	A	終了・ 廃止	
		網野火葬場の維持管理、火葬執行・霊柩車の運行管理(火葬場使用件数195件)															
		2 久美浜火葬場管理運営事業	市民課	6,109	5,555 (3,155)	市規 定	単費	○	サー ビス	市民	直・委	7	生活維持 確保	4	A	終了・ 廃止	
久美浜火葬場の維持管理、火葬執行・霊柩車の運行管理経費(火葬場使用件数154件)																	
3 竹野川斎場管理運営事業		竹野川衛生センター	12,680	13,092 (5,748)	市規 定	単費	○	サー ビス	市民	直・委	7	生活維持 確保	4	A	終了・ 廃止		
竹野川火葬場の維持管理、火葬執行・霊柩車の運行管理経費(火葬場使用件数527件)																	
5 火葬場の建設	4 火葬場建設事業【明許繰越】	市民課	29,480	-	国規 定	国・ 一部	含む	施設 整備	市民	-	7	生活維持 確保	4	S	拡大		
	新火葬場建設用地を取得、建設用地の造成測量・地質調査・造成(擁壁)設計を実施																
	5 火葬場建設事業	市民課	19,743	492,245 (24,645)	国規 定	国・ 一部	含む	施設 整備	市民	直・委	7	生活維持 確保	4	S	拡大		
	新火葬場建設に係る建築設計及び上下水道接続に係る設計に着手																
6 火葬場建設事業【明許繰越】	市民課	-	10,632	平成24年度事業の一部を繰り越して実施する事業													
	新火葬場建設予定地の地権者交渉のための不動産鑑定を実施																
計			80,623	533,390 (42,414)													

※ 合計金額には再掲事業を含んでいません。

施策における歳出抑制の考え方	No.	歳出抑制の考え方 (平成26～28年度までの3か年で取り組む歳出抑制)	一般財源抑制見込額 (単位:千円)	補完・代替措置などがある場合は、その内容
2	環境学習推進業務の実施回数の削減	11千円		
3	環境保全活動事業内の美しいふるさとづくり条例環境保護団体活動補助金を補助金等に関する基本方針に基づき見直し	44千円		

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	04狂犬病予防・動物管理事業	
細事業名	01 狂犬病予防・動物管理事業			決算書	P.176
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市		計画項目	① 自然環境の保全と創造
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
647千円		680千円	33千円	95.1 %	699千円
目的	狂犬病予防法第5条第1項の規定により、狂犬病の予防注射を実施し、狂犬病の発生を予防する。ペットの適正飼育や、動物管理におけるマナーなどの啓発を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 市内50会場で狂犬病予防の巡回予防接種を実施し、受診率の向上を図った。(4月) 狂犬病予防注射未実施の飼い主へ予防注射実施の催促を行った。(1月：飼い主709人、804頭) ペットの放し飼いやフンの始末などについての苦情に対して、京都府と連携して飼い主へ個別に対応、啓発を行った。 京都府と連携し、動物愛護教室を行い、動物との共生についての学習を行った。(7月：吉野小学校、田村小学校) 				
	○旅費	普通旅費(犬及び猫の献花式、担当課長会議)			20千円
	○需用費	消耗品費(犬鑑札230枚、予防注射済票2,350枚等)			61千円
		印刷製本費(通知文送付用封筒3,150枚)			33千円
	○役務費	通信運搬費(予防注射実施案内及び再通知郵送料)			198千円
	○委託料	狂犬病予防注射済票引渡事務委託料			335千円
	犬の登録件数及び狂犬病予防注射実施件数(平成24年度末)				
	犬の登録数		2,599頭		
	狂犬病予防注射接種件数		2,020頭		
	内訳	市実施件数		904頭	
獣医委託件数		1,110頭			
その他(市外)		6頭			
〔狂犬病予防注射受診率〕 H22 68.5%、 H23 73.8%、 H24 77.7%					
主な財源	府補	動物管理指導費補助金			136千円
	手数料	犬の登録注射業務手数料			511千円
評価・課題等	<p>○予防注射未実施犬の飼い主への啓発文書を送付することで、死亡した犬の情報を把握し、登録原簿の整理を行うことにより、事務の効率化を図ることができた。</p> <p>○予防注射実施の通知や広報により、犬の登録・狂犬病予防注射の受診率の向上と正しい飼養方法の普及や飼い主の自主的な動物管理マナーの向上を図っていく必要がある。</p>				
事業所管課		市民部/市民課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	05堀川浄化施設維持管理事業	
細事業名	01 堀川浄化施設維持管理事業			決算書	P.176
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市		計画項目	① 自然環境の保全と創造
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,543千円		1,544千円	1千円	99.9%	1,525千円
目的	久美浜町一区地内の生活雑排水が流れ込む「堀川（法定外河川）」の環境保全を図るため、堀川浄化施設の維持管理を行う。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>「堀川浄化施設」の維持管理として、施設の保守点検、消毒剤の充填、水路の清掃、水質検査、汚泥の処理等を行った。</p> <p>【堀川浄化施設】</p> <p>久美浜町西本町区に位置する堀川河口部から、上流部約180mの範囲における約65世帯の生活雑排水を浄化処理し、久美浜湾へ放流する施設。（平成6年設置） （200人槽、長期ばっ気式、処理能力：40m³/日、用途：雑排水下水路）</p> <p>○需用費 光熱水費（浄化槽及び街路灯等の電気・水道料金） 480 千円</p> <p>○委託料 堀川浄化施設保守管理委託料 1,063 千円 （施設保守点検、消毒剤充填、水路清掃、水質検査、汚泥処分等）</p>				
主な財源					
評価・課題等	<p>○本事業により、久美浜湾に直接流入していた家庭雑排水を処理することができ、久美浜湾の環境保全を図ることができた。</p> <p>○公共下水への接続の推進と並行して、本施設の適切な維持管理を行っていくことが必要である。</p>				
事業所管課	市民部／市民課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	08公害対策費	01公害対策事業
細事業名	01 公害対策事業			決算書 P.180
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	① 自然環境の保全と創造
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
974千円		978千円	4千円	99.5 % 162千円
目的	野焼きや騒音・振動・悪臭などの苦情等に対し、京都府、自治会等とも連携を図りつつ解決に向けた対応を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>◎野焼き・・・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく行政指導を行った。(6件)</p> <p>◎騒音、振動、悪臭・・・騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法に基づく対応ができない事案に対しては、当事者間の調整、相談窓口の案内等を行った。(8件)</p> <p>◎水質、大気・・・水質汚濁防止法、大気汚染防止法に基づく京都府の対応に協力した。(2件)</p> <p>◎自動車騒音常時監視・・・騒音規制法第18条に基づき自動車騒音の常時監視及び面的評価業務を行い、本市内の環境基準の達成状況を把握した。</p> <p>○旅費 普通旅費(権限移譲に係る説明会、担当者会議) 22千円</p> <p>○需用費 消耗品費(京丹後市地図データ購入) 310千円</p> <p>○委託料 632千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草刈委託料(網野町小浜地内樋越川 年1回) 49千円 ・水質検査委託料 89千円 (峰山町・大糸川、風呂川、小西川、大谷川 網野町・三原川 年1回) ・自動車騒音常時監視面的評価業務委託 494千円 (評価区間：国道482号(矢田橋～長岡の交差点)、 測定地点：丹後広域振興局付近、測定時期：平成25年3月) <p>○使用料及び賃借料 酸性雨測定地土地借上料(弥栄町田中地内100㎡) 10千円</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○公害防止及び苦情案件に対し、迅速かつ適正に対応することができた。</p> <p>○騒音や悪臭等に関する広報をさらに行っていく必要がある。</p> <p>○H24年度から権限移譲された自動車騒音常時監視面的評価業務を専門業者に委託し実施した。</p>			
事業所管課	市民部／市民課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	04生物多様性を育む農業推進事業																																											
細事業名	01 地域循環型農業支援事業			決算書 P.212																																											
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	① 自然環境の保全と創造																																											
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額																																											
2,710千円		2,710千円	0千円	100.0 % 3,000千円																																											
目的	農業の持つ物質循環機能を活かし環境に配慮した農業を推進することで、生物多様性を育む農業の推進と、豊かな自然・農村環境の維持・継続を目指す。																																														
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>生物多様性を育む農業を推進するため、堆肥及び生分解性マルチフィルム等資材の購入経費の支援を行った。</p> <p>○環境低負荷型農業促進対策事業費補助金 2,417千円 堆肥等の利用を通して安心・安全な農産物の生産を行う農業者及び組織等に対し、購入経費の一部を助成した。</p> <p>○地域環境保全型農業推進事業費補助金 293千円 生分解性マルチ等の利用を通して環境に配慮した営農活動を行う農業者及び組織等に対し、購入経費の一部を助成した。</p>																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">環境低負荷型農業促進対策事業</th> <th colspan="2">地域環境保全型農業推進事業</th> </tr> <tr> <th>対象件数</th> <th>補助金額</th> <th>対象件数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>15件</td> <td>333千円</td> <td>4件</td> <td>25千円</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>9件</td> <td>336千円</td> <td>3件</td> <td>77千円</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>6件</td> <td>230千円</td> <td>0件</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>6件</td> <td>229千円</td> <td>0件</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>11件</td> <td>405千円</td> <td>0件</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>19件</td> <td>884千円</td> <td>6件</td> <td>191千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>66件</td> <td>2,417千円</td> <td>13件</td> <td>293千円</td> </tr> </tbody> </table>				区分	環境低負荷型農業促進対策事業		地域環境保全型農業推進事業		対象件数	補助金額	対象件数	補助金額	峰山町	15件	333千円	4件	25千円	大宮町	9件	336千円	3件	77千円	網野町	6件	230千円	0件	0千円	丹後町	6件	229千円	0件	0千円	弥栄町	11件	405千円	0件	0千円	久美浜町	19件	884千円	6件	191千円	合計	66件	2,417千円	13件
区分	環境低負荷型農業促進対策事業		地域環境保全型農業推進事業																																												
	対象件数	補助金額	対象件数	補助金額																																											
峰山町	15件	333千円	4件	25千円																																											
大宮町	9件	336千円	3件	77千円																																											
網野町	6件	230千円	0件	0千円																																											
丹後町	6件	229千円	0件	0千円																																											
弥栄町	11件	405千円	0件	0千円																																											
久美浜町	19件	884千円	6件	191千円																																											
合計	66件	2,417千円	13件	293千円																																											
主な財源																																															
評価・課題等	環境に配慮した農業に取り組む農業者の負担軽減を支援することにより、生物多様性を育む農業の推進と豊かな自然・農村環境の維持・継続が図れた。																																														
事業所管課	農林水産環境部／農政課																																														

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	04生物多様性を育む農業推進事業
細事業名	02 コウノトリもすめるさとづくり支援事業			決算書 P.212
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	① 自然環境の保全と創造
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
629千円		630千円	1千円	99.8 % 0千円
目的	自然環境や生物多様性に配慮した取り組みの重要性を認識・実践することで、多様な生物が共生する豊かな田園・里山の環境整備を図り、生物多様性を育む農業を推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	遊休水田を利用した水田ビオトープの設置管理により、生物多様性と環境意識の向上を図った。			
	○生物多様性保全に係る研修等旅費	23千円		
	○使用料及び賃借料（有料道路通行料）	4千円		
	○コウノトリもすめるさとづくり支援事業補助金	602千円		
	区分	件数	取組面積	補助金額
	峰山町	2件	105 a	178千円
	弥栄町	1件	27 a	46千円
	久美浜町	5件	228 a	378千円
	合計	8件	360 a	602千円
主な財源				
評価・課題等	地域の農家を巻き込んだ取り組みとなり、環境意識の向上が図られた。また、遊休水田整備による農環境向上につながり、生物多様性を育む農業を推進できた。			
事業所管課	農林水産環境部／農政課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	03環境美化保全対策事業
細事業名	01 環境保全活動事業			決算書 P.176
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	① 自然環境の保全と創造
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
850千円		850千円	0千円	100.0 % 938千円
目的	京丹後市域の豊かな自然環境保全や美化活動を推進するため、市、事業者及び市民が一体となって美しいふるさとづくり活動に向けた取り組みを推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○美しいふるさとづくり条例環境保護団体活動補助金 130千円</p> <p>条例に基づき、特別保護区域である琴引浜において、環境保護団体が実施するパトロール活動（海水浴シーズンの土日祝日、2人1組で午前・午後の2回/日）を支援した。</p> <p>○はだしのコンサート2012補助金 720千円</p> <p>鳴き砂の浜の保全活動について、その必要性を理解していただく契機としてコンサートを開催しており、「拾った海岸ゴミが入場券」というユニークな形態をとっている。自然環境保全についてのメッセージと本市の魅力を市の内外に発信するイベントに対して支援した。</p> <p>実施日：平成24年6月3日（日） 参加者：約2,000人</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○条例規定の環境保護団体に対し支援を行うことで、豊かな自然環境を保全することができたものの、次代を担うスタッフの確保・養成が課題。</p> <p>○琴引浜の環境保全活動を目的としたイベント開催を支援することで、市の内外にその魅力発信及び環境保全の大切さを広くアピールすることができた。平成25年度をもって20年目を迎えるが、その成果と課題を踏まえ、今後の事業の在り方と持続可能性検討が必要。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	07環境保全意識啓発事業
細事業名	01 環境保全意識啓発事業			決算書 P.176
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	① 自然環境の保全と創造
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
37千円		89千円	52千円	41.5 % 180千円
目的	自然環境保全への意識向上、啓発を図るため、京丹後市の豊かな自然に触れる機会の提供を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○自然環境保全意識啓発業務委託料 37千円 (委託先：丹後スペースクラブ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 紅葉の内山ブナ林観察会 開催日：平成24年11月10日(土) 参加者：40人 講師(ブナ林案内人)：3人 補助員：5人 ※春の観察会については、前年の台風により陥落した道路の復旧が完了しておらず、入山時の安全確保が困難となったため中止した。 水生生物調査 平成24年7月26日(木) 丹後町遠下山根橋(50人) 平成24年7月27日(金) 峰山町鱒留川(40人) 平成24年8月 2日(木) 峰山町鱒留川(55人) 平成24年8月 3日(金) 丹後町鞍内宇川(34人) 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○ブナ林観察会についても、地元関係団体の協力を得て、市の木であるブナ林の魅力と環境保全の意義を伝えることができたが、環境学習の機会提供拡大に向けた講師・スタッフの確保が課題。</p> <p>○水生生物調査については、子ども達に河川や水の環境保全について考える機会を提供することにより、自然環境保全への意識向上、啓発を行うことができた。また、京都府丹後保健所や市教委社会教育課との連携により、経費の節減と事務の分担が図れた。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	15環境基本計画推進事業
細事業名	01 環境基本計画推進事業			決算書 P.178
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	① 自然環境の保全と創造
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
386千円		437千円	51千円	88.3 % 437千円
目的	環境基本計画を推進するための京丹後市環境基本計画推進委員会を設置し、市民・事業者・市民団体・旅行者等への普及・啓発を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>環境基本計画に基づく施策の推進及び進捗状況の点検を行うため、環境基本計画推進委員会を開催し、市民・事業者・市民団体・旅行者・行政の取り組みの連携や促進に関して協議を行った。また、前任委員の委嘱期間満了に伴い、新たに16人の方を委員委嘱した。</p> <p>○環境基本計画推進費 302千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画推進委員会の開催（4回） 委員：18人（3/18からは16人） <ul style="list-style-type: none"> 第7回（6/7） 14人×4,000円 56千円 第8回（8/23） 13人×4,000円 52千円 第9回（11/1） 12人×4,000円 48千円 第1回（3/18）※2期目 13人×4,000円 52千円 ・重点プロジェクトに関する小委員会の設置、会議開催（2回） <ul style="list-style-type: none"> 第1回（6/21） 6人×4,000円 24千円 第2回（8/2） 5人×4,000円 20千円 <p>※重点プロジェクト</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.環境ビジネスモデル推進プロジェクト 2.「山」「里」「海」水のリレープロジェクト 3.京丹後リ・スタイル（Re-Style）プロジェクト 4.地域環境学習推進プロジェクト <p>委員費用弁償・職員旅費 50千円</p> <p>○環境学習推進業務委託料 84千円</p> <p>学校や地域における環境学習を開催する業務をNPO法人エコネット丹後に委託した。</p> <p>開催回数 10回 参加者数 234人</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○計画の重点プロジェクトの1つ「山」「里」「海」水のリレープロジェクトとして、ウルトラマラソン大会前日に「第1回水をつなぐクリーン大作戦」を開催し、河川の上流から下流まで流域全体で環境について考える契機とすることができた。今後定例化していく中で、流域を越えた地域の連携により、森林・河川・海の環境保全を推進する必要がある。</p> <p>○実施が十分ではない重点プロジェクト項目もあることから、今後も委員会を中心とし、重点プロジェクトを積極的に実行していく必要がある。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	50環境衛生一般経費
細事業名	01 環境衛生一般経費			決算書 P.180
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	① 自然環境の保全と創造
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
2,016千円		2,043千円	27千円	98.6 % 671千円
目的	環境衛生事業の円滑な推進に必要な一般経費、関連団体への負担金等			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>法令書籍などの購入、出張旅費の支出、公用車の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費（普通旅費） 434千円 ・需用費 574千円 <ul style="list-style-type: none"> 消耗品費 191千円 燃料費 324千円 公用車修繕料 59千円 ・役務費（参考書籍送料、自動車登録手数料、自賠責保険料） 56千円 ・委託料（丹後あじわいの郷太陽光発電システム調査業務） 189千円 ・使用料及び賃借料（有料道路通行料） 24千円 ・工事請負費（丹後あじわいの郷太陽光発電システム改修工事） 399千円 ・負担金、補助及び交付金 207千円 <ul style="list-style-type: none"> エネルギー管理講習受講料 17千円 京都発地域バイオマス連携シンポジウム負担金 30千円 （実施日：平成24年5月26日（土） 参加者：130人 会場：キャンパスプラザ京都（京都市）） 丹後の豊かな環境づくり推進会議負担金 150千円 （丹後環境ソサエティ 実施日：平成25年2月10日（日） 参加者：約200人 会場：みやづ歴史の館文化ホール） （少年少女11体験77- 実施日：平成25年3月26日（火） 参加者：30人 会場：丹後海と星の見える丘公園） バイオガス推進協議会負担金 10千円 ・補償補填及び賠償金（公用車物損事故に係る賠償金） 133千円 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○適切な事務執行により、環境衛生事業を円滑に実施することができた。</p> <p>○宮津市・南丹市と連携したバイオマス連携シンポジウムの開催や民間委員を主体とする丹後の豊かな環境づくり推進会議への参加により、関係団体や他の自治体との連携強化と環境衛生事業の推進を図ることができた。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	11地球温暖化防止対策推進事業	
細事業名	01 地球温暖化防止対策推進事業			決算書	P.176
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市		計画項目	① 自然環境の保全と創造
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
309千円		326千円	17千円	94.7%	1,326千円
目的	自然エネルギー活用の普及による温室効果ガスの排出削減のため、市民の環境に対する意識啓発を行い、地球温暖化防止対策を推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○薪ストーブ・ペレットストーブ設置補助金 300千円 補助率：補助対象経費の1/12 補助限度額：50千円 実績：6件（薪ストーブ 6件）</p> <p>○職員旅費 9千円 京都府地球温暖化防止活動推進委員地域別研修会（京都市）</p>				
主な財源					
評価・課題等	<p>○石油や電気などの化石燃料に代えて、地域バイオマス（木質燃料）導入を促進することで温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化対策の推進につなげることができた。</p> <p>○風力発電設備については、依然として初期の導入コストが高額であるため、問い合わせはあるものの実際の申請には結びつかない状況にあり、太陽光発電設備や住宅・工場のエコ改修への補助など、他の温室効果ガス削減のための促進施策を検討していく必要がある。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	01防疫対策事業	
細事業名	01 防疫対策事業			決算書	P.174
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市		計画項目	① 自然環境の保全と創造
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
118千円		194千円	76千円	60.8%	196千円
目的	京丹後市地域防災計画の災害応急対策計画に基づく、防疫対策を実施する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>害虫駆除として、ハチ駆除用防護服の貸出しを行った。ハチの防護服については、古くなっている物から順次更新し、汚れのひどいものは、クリーニングを行い、ハチの防護服の貸し出しに備えた。</p> <p>○役務費 手数料（ハチ防護服クリーニング） 3千円</p> <p>○備品購入費 （ハチ防護服1着 ※久美浜市民局配置） 115千円</p> <p>※ 本事業では風水害時に消毒用の薬剤の提供や、消毒を実施するが、平成24年度は大きな水害の発生がなかったため、予算執行はなかった。</p>				
主な財源					
評価・課題等	<p>○各市民局に備えているハチ防護服を市民に貸出しすることで、安全かつ快適に生活することができる環境づくりに資することができた。</p> <p>○ハチ防護服が、摩耗や経年劣化により老朽化が進んでおり、計画的に更新していく必要がある。</p>				
事業所管課	市民部／市民課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	09斎場費	04久美浜火葬場管理運営事業																				
細事業名	01 久美浜火葬場管理運営事業			決算書	P.184																			
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市		計画項目	① 自然環境の保全と創造																			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																			
6,109千円		6,145千円	36千円	99.4 %	5,287千円																			
目的	火葬場の維持管理、火葬執行及び霊柩車運行委託の管理業務を行う。																							
主要な事務・事業及び成果の概要	火葬による焼骨と、収骨後の残骨灰の適切な処理を行うとともに、施設の老朽化に伴う火葬炉及び排気ファンの不良箇所の修繕を行った。																							
	○共済費	労災保険料（臨時職員1人）		31千円																				
	○賃金	臨時職員賃金（火葬作業、周辺整備作業）		2,172千円																				
	○需用費			2,584千円																				
		消耗品費（ステンレスゴトク、消石灰、ろうそく、線香等）		169千円																				
		燃料費（A重油）		1,092千円																				
		光熱水費		298千円																				
		修繕料（火葬炉、排気ファン修繕等）		1,025千円																				
	○役務費			96千円																				
		通信運搬費（電話代）		34千円																				
	手数料（職員健康診断、自動車登録手数料等）		17千円																					
	保険料（共済保険料：建物、自動車）		45千円																					
○委託料			1,226千円																					
	残骨灰処理委託料		63千円																					
	霊柩車運行業務委託料（延べ153回）		1,163千円																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>火葬場使用料</th> <th>対前年度比</th> <th>火葬件数</th> <th>対前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>2,280千円</td> <td>99.3%</td> <td>154件</td> <td>96.3%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>2,295千円</td> <td>98.9%</td> <td>160件</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>2,321千円</td> <td>120.2%</td> <td>160件</td> <td>122.1%</td> </tr> </tbody> </table>				年度	火葬場使用料	対前年度比	火葬件数	対前年度比	H24	2,280千円	99.3%	154件	96.3%	H23	2,295千円	98.9%	160件	100.0%	H22	2,321千円	120.2%	160件	122.1%
年度	火葬場使用料	対前年度比	火葬件数	対前年度比																				
H24	2,280千円	99.3%	154件	96.3%																				
H23	2,295千円	98.9%	160件	100.0%																				
H22	2,321千円	120.2%	160件	122.1%																				
主な財源	使用料	火葬場使用料	2,280千円																					
評価・課題等	<p>○突発的な火葬炉排気ファン故障に対して、メーカーによる特注部品を交換し、最短で修理することができ、火葬の執行に支障が生じないように努めた。</p> <p>○施設の老朽化が進む中、新火葬場稼働まで必要最小限の修繕及び徹底した維持管理を行う必要がある。</p>																							
事業所管課		市民部／市民課																						

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	09斎場費	03竹野川斎場管理運営事業
細事業名	01 竹野川斎場管理運営事業			決算書 P.182
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	① 自然環境の保全と創造
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
12,680千円		12,712千円	32千円	99.7 % 13,463千円

目的	火葬場の維持管理、火葬執行及び霊柩車の運行管理業務を行う。				
主要な事務・事業及び成果の概要	火葬による焼骨と収骨後の残骨灰の適切な処理を行った。霊柩車の運行については、すべて業者に委託した。				
	○共済費	・臨時職員労災保険料		72 千円	
	○賃金	・臨時職員賃金（火葬業務2人）		5,286 千円	
	○需用費				
		消耗品費（棺架台用ステンレス製ゴトク、消石灰等）		359 千円	
		燃料費、光熱水費		2,511 千円	
		修繕料（火葬炉及び煙道、除雪機械等）		1,618 千円	
	○役務費				
		通信費（電話代）		36 千円	
		臨時職員健康診断手数料		18 千円	
	保険料（建物火災保険料、霊柩車(2台)損害保険料）		148 千円		
○委託料					
	残骨灰処理委託料（残骨灰埋葬量2 t）		127 千円		
	霊柩車運行業務委託料（委託数408体）		2,099 千円		
	その他施設管理委託料（施設清掃、庭木剪定等）		110 千円		
○発電機借上料（計画停電対策）			179 千円		
○その他（テレビ受信料、清掃用具借上料、自動車重量税）			117 千円		
	（単位：千円、件）				
	年度	火葬場使用料	対前年度比	使用件数	対前年度比
	H24	7,273	100.5%	527	99.2%
	H23	7,237	103.9%	531	102.3%
	H22	6,966	101.6%	519	102.8%
主な財源	使用料	火葬場使用料			7,273千円
評価・課題等	<p>○火葬場の使用件数は、昨年と比べわずかに減少した。市職員の退職（1人）により、施設管理は竹野川衛生センター職員で兼務し、霊柩車運行はすべて業者委託することにより、火葬の執行を適切に行うことができた。</p> <p>○施設の老朽化が進む中、新火葬場完成まで、必要最小限の修繕及び徹底した維持管理に努め、施設の存続を図る必要がある。</p>				
事業所管課	市民部／衛生センター				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	09斎場費	05火葬場建設事業													
細事業名	02 火葬場建設事業（繰越）			決算書	P.184												
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市		計画項目	① 自然環境の保全と創造												
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額												
29,480千円		36,291千円	6,811千円	81.2%	36,291千円												
目的	新火葬場建設のための事業を推進する。																
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>【明許繰越事業分】</p> <p>地権者との合意により、新火葬場建設用地の取得を行った。</p> <p>また、建設用地の造成測量、地質調査、造成（擁壁）設計を行った。</p> <table border="0"> <tr> <td>○土地購入</td> <td>24,220 千円</td> </tr> <tr> <td> ・土地購入費（3筆 16,629㎡）</td> <td>24,204 千円</td> </tr> <tr> <td> ・需用費（収入印紙購入）</td> <td>16 千円</td> </tr> <tr> <td>○造成測量業務委託</td> <td>1,345 千円</td> </tr> <tr> <td>○地質調査業務委託</td> <td>3,086 千円</td> </tr> <tr> <td>○造成設計業務委託</td> <td>829 千円</td> </tr> </table>					○土地購入	24,220 千円	・土地購入費（3筆 16,629㎡）	24,204 千円	・需用費（収入印紙購入）	16 千円	○造成測量業務委託	1,345 千円	○地質調査業務委託	3,086 千円	○造成設計業務委託	829 千円
○土地購入	24,220 千円																
・土地購入費（3筆 16,629㎡）	24,204 千円																
・需用費（収入印紙購入）	16 千円																
○造成測量業務委託	1,345 千円																
○地質調査業務委託	3,086 千円																
○造成設計業務委託	829 千円																
主な財源	市債 火葬場整備事業債（合併特例債）				27,900千円												
評価・課題等	平成23年度末に地権者と建設予定地の用地買収合意を得ることができ、用地購入と造成設計等を行うことができた。																
事業所管課	市民部／市民課																

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	09斎場費	05火葬場建設事業																														
細事業名	02 火葬場建設事業			決算書	P.184																													
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市		計画項目	① 自然環境の保全と創造																													
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																													
19,743千円		30,376千円	10,633千円	64.9 %	31,424千円																													
目的	新火葬場建設のための事業を推進する。																																	
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>新火葬場建設のため、公募型プロポーザルにより設計業者を決定し、建築基本設計及び実施設計を行った。(翌年度へ一部繰越)</p> <p>設計を進めるに当たっては、地元区長をはじめ火葬場整備検討委員会委員を構成員とする火葬場整備等審査委員会を設置し、市民の幅広い意見を伺った。</p> <p>また、上下水道本管を建設敷地まで接続するため、管渠測量、詳細設計を行った。(翌年度へ全額繰越)</p>																																	
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">○火葬場整備等審査委員会(委員14人)</td> <td style="width: 85%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">186千円</td> </tr> <tr> <td> ・報償費(4回開催)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">168千円</td> </tr> <tr> <td> ・旅費(費用弁償)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">18千円</td> </tr> <tr> <td>○新火葬場建築設計委託(3,371千円を翌年度へ繰越)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">19,520千円</td> </tr> <tr> <td>○その他(用地造成工事建築確認申請手数料)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">37千円</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">参考</td> <td style="width: 60%;">繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">19,744千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な執行率</td> <td style="text-align: right;">99.9 %</td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">■平成25年度への繰越事業</td> <td style="width: 85%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">10,632千円</td> </tr> <tr> <td> ・建築基本設計、実施設計(平成25年8月末完成)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">3,371千円</td> </tr> <tr> <td> ・上下水道管渠測量、詳細設計(平成25年5月末完成)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">7,261千円</td> </tr> </table>					○火葬場整備等審査委員会(委員14人)		186千円	・報償費(4回開催)		168千円	・旅費(費用弁償)		18千円	○新火葬場建築設計委託(3,371千円を翌年度へ繰越)		19,520千円	○その他(用地造成工事建築確認申請手数料)		37千円	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	19,744千円		実質的な執行率	99.9 %	■平成25年度への繰越事業		10,632千円	・建築基本設計、実施設計(平成25年8月末完成)		3,371千円	・上下水道管渠測量、詳細設計(平成25年5月末完成)	
○火葬場整備等審査委員会(委員14人)		186千円																																
・報償費(4回開催)		168千円																																
・旅費(費用弁償)		18千円																																
○新火葬場建築設計委託(3,371千円を翌年度へ繰越)		19,520千円																																
○その他(用地造成工事建築確認申請手数料)		37千円																																
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	19,744千円																																
	実質的な執行率	99.9 %																																
■平成25年度への繰越事業		10,632千円																																
・建築基本設計、実施設計(平成25年8月末完成)		3,371千円																																
・上下水道管渠測量、詳細設計(平成25年5月末完成)		7,261千円																																
主な財源	市債 火葬場整備事業債(合併特例債)				18,500千円																													
評価・課題等	<p>○平成24年度に建築設計及び上下水道接続にかかる設計に着手することができた。</p> <p>○平成25年度は造成工事、上下水道接続工事、建築工事を開始し、平成26年度中の完成を予定している。</p> <p>○供用開始までに運営・管理方法の詳細を決定していく必要がある。</p>																																	
事業所管課	市民部/市民課																																	